

虐待に関する相談件数及び傾向について

1 虐待に関する相談件数

(1) 高齢者虐待

	R1	R2
4月	9	3
5月	7	4
6月	7	10
7月	6	6
8月	5	7
9月	3	5
10月	5	5
11月	5	7
12月	9	9
1月	5	-
2月	6	-
3月	6	-
計	73	56

(2) 障がい者虐待

	R1	R2
4月	2	2
5月	1	1
6月	0	2
7月	0	0
8月	1	0
9月	1	0
10月	0	1
11月	0	2
12月	2	2
1月	2	-
2月	1	-
3月	0	-
計	10	10

(3) 児童虐待

	R1	R2
4月		
5月		
6月	60	66
7月		
8月		
9月	44	54
10月		
11月		
12月	45	47
1月		
2月		-
3月	53	
計	202	167

2 相談内容・傾向

(1) 高齢者虐待

虐待の相談経路としては、警察からの通告が多くなっています。
 令和2年度において、6月以降虐待相談件数が増加していますが、新型コロナウイルス感染症が影響しているか判別できていない状況です。
 高齢者生活支援センター（地域包括支援センター）の窓口で、コロナ禍において認知症が進んだという相談が増加していますが、それが虐待につながっているという状況にはありませんが、認知症による介護負担が虐待の要因になることもあるため、適切な介護サービスの利用等の支援により、虐待を予防する必要があります。

(2) 障がい者虐待

虐待の相談経路としては、警察や支援者からの通告が多くなっています。
 緊急事態宣言発令により、自宅で過ごす時間が増えたことで、家族と接する時間が多くなり、結果家族とのトラブルから虐待通報となったケースがありました。
 また、精神疾患を抱える方の中で、新型コロナウイルス感染症の影響から、休業期間中に精神状態が悪化し、仕事に復帰できなくなったケースがありました。

(3) 児童虐待

虐待の相談経路としては、警察からの通告が増加しています。
 通告の内容は、子どもの目の前で保護者が暴力をふるう等の面前DV（心理的虐待）が多くなっています。
 また、児童虐待の相談件数は、平成29年度以降前年度比2倍で推移しています。
 （参考：H29:68件, H30:105件, R1:202件）
 虐待の相談件数増加の原因として、新型コロナウイルス感染症が影響しているかは、不明です。